

平成23年度 第2回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成23年10月25日 火曜日 午後2時～午後4時				
開催場所	函館市南茅部支所3階 多目的ホール				
内 容	<p>報告事項 (1) 諸般の報告</p> <p>議 題 (1) 平成24年度地域別事業計画(案)について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換 (1) 函館国際水産・海洋都市構想の取り組み経過について (2) 次回の意見交換テーマについて (3) その他</p> <p>その他</p>				
出席委員	<p>秋本委員 熊谷委員 高谷静子委員 藤川委員 山下委員 佐々木委員 木原委員 坂本委員 佐藤委員 高谷大喜委員 (計10名)</p> <p>・報道関係 函館新聞社 (計1社)</p> <p>・傍聴者 (計0名)</p>				
欠席委員	竹原委員 小川委員 齊藤委員 工藤委員 蛭谷委員 (計5名)				
事務局の出席者の職氏名	<p>南茅部支所長 佐藤洋一 企画部長 渡辺宏身 南茅部支所地域振興課長 進藤昭彦 同参事2級 藤田秀樹 同市民福祉課長 小枝精一 同参事3級 本吉 勲 同産業建設課長 河合満夫 同計画推進室地域振興課主任主事 小玉 亮 同地域振興課主査 西谷光一 同地域振興課主任 加我明夫 南茅部教育事務所長 田名部洋 市立函館南茅部病院事務長 加我賢也 (計12名)</p>				

1 開会（午後2時00分）	
事務局 （進藤課長）	ただ今より、平成23年度第2回函館市南茅部地域審議会を開会します。
2 会長あいさつ	
秋本会長	<p><挨拶要点> 皆様には、時節柄、何かとお忙しいところ、ご出席いただきまして、誠に ご苦労様でございます。</p> <p>本日の審議会は、平成24年度地域別事業計画（案）の説明を受け、ご意 見をいただく予定でございます。</p> <p>また、地域振興全般に関する意見交換では、「函館国際水産・海洋都市構 想の取り組み経過について」を企画部から説明していただき、勉強する予定 であります。</p> <p>委員各位の忌憚のないご意見・ご提言を期待して、開会のご挨拶といたし ます。</p>
3 支所長あいさつ	
佐藤支所長	<p><挨拶要点> 皆様におかれましては、浜が盛漁期で何かとお忙しい中、ご出席いただき、 心から感謝申し上げます。</p> <p>前浜ではブリやイナダが豊漁で、10月からは、すけとうだら刺し網漁も 始まり、価格も含めてまずまずの状況だと伺っております。</p> <p>また、昆布につきましては、全道的に不漁と言われている中、南茅部地区 は例年になく豊漁という事で、価格にも期待しているところです。</p> <p>総体的に見ますと、昨年の漁業生産額は約77億円という事ですので、そ れを上回ってくれればと願っております。</p> <p>それから、10月1日に待望の縄文文化交流センターがオープンしました。 オープンにあたりましては、函館市南かやべ縄文文化創生の会、北の縄文 C L U B、町内会、女性団体、安浦駒踊り保存会など、地元の各種団体にご 参加いただき、地域ぐるみでオープンを祝ったところであります。</p> <p>ご協力いただいた関係各位の皆様には、この場を借りてお礼を申し上げる次 第であります。</p> <p>本日の会議内容は、秋本会長のご挨拶にありましてとおり、平成24年度 の事業計画案についてご審議をいただく大切な会議ですので、活発なご意見 ・ご提言をお願いいたします。</p> <p>以上、申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。</p>
4 出席委員の報告	
事務局 （進藤課長）	出席者10人、欠席者5人、地域審議会の設置に関する規程第8条の規定 により、会議の成立をご報告いたします。

5 報告事項

(1) 諸般の報告

秋本会長 日程5の報告事項について、佐藤支所長から報告ののち、質疑を受けたいと思います。

佐藤支所長 それでは、私の方から諸般の報告をさせていただきます。
まず、縄文文化交流センターのオープンについてですが、10月16日に開館からわずか2週間で、入館者が1万人を突破しました。
青森県八戸市で7月10日にオープンした、国宝「合掌土偶」などを展示する「是川縄文館」では、1万人を突破するのに約1ヵ月かかっており、縄文文化交流センターは非常に早いペースで推移していると思います。
なお、10月23日現在の入館者数は、13,500人となっております。
来年3月には、国道278号バイパスの豊崎トンネルも開通予定であり、一層の入込みが期待され、国宝のある道の駅が新たな観光名所となることを願っているところであります。
次に、10月9日に開催しました南かやべとことん浜味祭りについてですが、第11回目となる今回は、約3千人の入込みがあったと伺っております。
3点目は、第3回市議会定例会について、東部4地域に関わる事項がいくつかありましたので、報告いたします。
まず、防災対策について、「津波対策における避難経路の現状についての認識や避難経路を確保し、市民へ周知を図ることが必要ではないか」との質問がありました。
それに対し、「地域防災計画の見直し作業の中で、津波避難所や避難経路などの検証を行っている」との答弁があり、さらに東部4地域の避難経路の現状や避難路の確保について、4支所長から答弁し、私からは「緊急時の逃げ道をどう確保するかといったことは、住民の安全・安心を守るために、最も優先すべき事項であることから、現地把握はもとより地域住民の声をよく聞きながら、連携して取り組んで参りたい」と答弁しました。
次に交通料金助成制度について、「外部委員による事業仕分けで廃止判定されたが、今後、どのように見直すのか」といった質問がありました。
本制度については、東部4地域は対象外となっておりますが、市長から「利用実態に即した新たな助成方式で再設計すべき。事業仕分けの結果を踏まえながら、全市域を対象とした新たな制度を早急に検討していく」と答弁がありました。
今後、新制度が明らかになった時点で、地域審議会にもご説明していきたいと考えております。
最後になりますが、市の行財政改革の一環で、外部委員による函館市の事業仕分けが行われております。
8月から実施されておりますが、年度内に4回程予定されております。
交通料金助成制度も仕分けされ、結果は先ほど説明したとおりです。
それから、戸井・恵山・南茅部の地域会館の管理委託料についても「見直しが必要」と判定されましたので、今後、町内会の皆さんと相談して参りたいと考えております。以上です。

秋本会長	報告が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？ (特になし)
秋本会長	無いようですので、質疑を終了します。
<p>6 議 題 (1) 平成24年度地域別事業計画(案)について</p>	
秋本会長	日程6の議題に入ります。 (1) 平成24年度地域別事業計画(案)について、事務局から説明願います。
事務局 (進藤課長)	(資料1のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
藤川委員	地域会館の管理運営について、先ほど支所長からも報告があったが、事業仕分けで旧市内と同様に、東部4地域の地域会館も町内会が管理すべきといった意見もあったようだが、もう少し詳しく説明してほしい。
市民福祉課 (小枝課長)	<p>10月16日に、地域会館管理委託料の事業仕分けが行われ、廃止も含めて見直しが必要との判定結果となっておりますが、廃止すべきという意見はありませんでした。</p> <p>ただ、旧市内では町会が自主的に管理運営費も出して会館を管理しておりますが、東部4地域につきましては、合併前から行政が管理委託料を支払って管理しておりましたことから、合併後も町内会を指定管理者として、管理をお願いしているところであります。</p> <p>各委員でも意見が分かれ、現行どおりで良いという意見や会館の数を1町内会1会館に集約すべきという意見もありました。</p> <p>一方で、制度そのものを廃止して、町内会に移管すべきという厳しい意見もありましたが、総じて地域会館自体の必要性を否定するものではなく、運営の仕方について見直しが必要ということでした。</p> <p>今後、町内会とよく相談しながら、検討していきたいと考えております。</p>
藤川委員	<p>旧市内の町会と比較されても規模が違うし、会館の建設経過も異なるので、同一の取扱いとする事自体に無理がある。</p> <p>評価の仕方が一方的な感じを受けるが、どのような委員構成となっているのか？</p>
市民福祉課 (小枝課長)	<p>事業仕分けは2班方式となっており、地域会館については、第1班が行っております。</p> <p>委員は7人で、女性が2人と男性が5人です。</p>

<p>佐々木委員</p>	<p>会社経営の方や一般の主婦の方など様々な業種の方々に構成されており、それぞれ色々な視点から意見が出されますが、廃止すべきという意見はありませんでした。</p> <p>総合案内標識の整備について、札幌から車で来た人が支所までは着いたものの、そこから縄文文化交流センターまでの道のりが分からず、道案内したことがあった。</p> <p>市内外から来た人が迷わないように、交流センターまでの案内看板を設置すべきではないか？</p> <p>それと、路線バスで来た人へのアクセス対策も検討する必要があると思う。</p>
<p>産業建設課 (河合課長)</p>	<p>現在、道道函館南茅部線沿いに、ホテルひろめ荘と南かやべ保養センターの案内標識がありますが、それに新しく交流センターの案内板も年度内に設置したいと考えております。</p> <p>それから、北海道の方にも道道の案内標識に、道の駅として表示してもらうよう要望中です。</p>
<p>教育事務所 (田名部所長)</p>	<p>教育委員会でも、車で来た方へのアクセス対策として、南茅部公民館前、安浦地区、臼尻小学校下に案内看板を設置しております。</p> <p>それから、路線バスで来た方につきましては、産業会館前バス停が最も交流センターに近いことから、バス停付近の市道の上がり口に1箇所、さらには上の分岐点に1箇所、案内看板を設置したところであります。</p>
<p>秋本会長</p>	<p>産業会館前バス停から交流センターまでの道路に、私道は含まれているのか？</p>
<p>産業建設課 (河合課長)</p>	<p>全て市道で私道はありません。</p> <p>ただ、現在の道路は遠回りになるので、アクセス対策として新たな道路の整備を、教育委員会と協議する必要があると考えております。</p>
<p>高谷静子委員</p>	<p>交通料金助成制度について、事業仕分けで廃止と判定されたとの新聞報道があったが、どのようになるのか？</p>
<p>佐藤支所長</p>	<p>先ほど諸般の報告の中でも述べましたが、事業仕分けの判定を受けて、東部4地域を含めた全市的な枠組みの中で、利用実態に即した新たな助成方式による制度設計について早急に検討しますと、議会で市長が答弁しております。</p> <p>ただ、現時点でその目処はまだ分かりませんが、内容が明らかになりましたら、機会を捉えて皆さんにもご説明して参りたいと考えております。</p>
<p>企画部 (渡辺部長)</p>	<p>現行制度では、助成分をバス会社に概算払いしているため、利用実績と合わないことから、助成金がバス事業者に対する運営費補助的な運用となっていると、事業仕分けで指摘されたものです。</p> <p>このことを踏まえて、市長が東部4地域も含めた制度の見直しを、早急に検討すると議会で答弁したところであり、現在、福祉部所管で、具体の案を検討しております。</p>

熊谷副会長	郷土芸能保存および伝承事業について、地域の郷土芸能保存団体に補助しているとのことだが、各団体にどのくらい補助しているのか？
教育事務所 (田名部所長)	今年度予算で申し上げますと、木直大正神楽保存会に5万4千円、安浦駒踊り保存会に6万4千円、大船南部神楽保存会に5万8千円、南茅部大漁太鼓保存会に5万1千円を補助しております。
熊谷副会長	南茅部大漁太鼓保存会は、活動を休止中と聞いているが、補助金の使途について、チェックしているのか？ それから、近年、各保存会が後継者不足に悩んでいる中、地域で伝承されてきた文化を残していく事は非常に大切だと思うが、行政として何らかの対策を講じる考えがあれば、教えてほしい。
教育事務所 (田名部所長)	南茅部大漁太鼓保存会については、近年、ひろめ舟祭りなどにも参加しておりませんが、小学生に対する演奏指導を行うなど、後継者育成に力を入れております。 また、郷土芸能の後継者対策としましては、中々難しい課題ではありますが、機会を捉えて子供達に体験してもらえよう、学校とも相談したいと考えております。
熊谷副会長	地域全体で、後継者育成に取り組んでいく対策をお願いしたい。 それと市の主体事業ではないが、海岸の越波対策として護岸整備が進められている中で、どのくらいの進捗状況となっているのか？
産業建設課 (河合課長)	消波ブロックについては、ほぼ要望どおり実施されていると思います。 木直地区は今年度で終了しており、尾札部地区もあと2年位で完了する予定です。 あと、川汲地区と安浦地区については整備区間が長いですが、30パーセント程度実施していると思います。 新たに要望が出ている磨光地区についても、11月下旬に工事が発注される予定です。
熊谷副会長	老朽化している箇所も見受けられるので、今後とも計画的な越波対策に取り組んでもらいたい。
佐藤支所長	船揚場維持補修事業として、船揚場管理組合に事業費の2分の1を補助し、毎年、船揚場の維持管理に努めております。 船揚場の維持管理にあたっては、当然、越波対策も必要となってきますので、今後も本事業を継続実施するとともに、北海道にも海岸保全施設の早期整備について要望を行って参りたいと考えております。
山下委員	さきの地域審議会で、野球場のトイレの水洗化をお願いしたところ、早速、洋式の便座を取り付けていただき、感謝を申し上げたい。 スポーツ施設に関することとして、野球場を使用する際、次の試合を待っている選手達の待機場所が無く、雨天時は特に不便を感じている。

	<p>待機場所として運動広場内にある休憩所を開放できないものか？</p>
<p>教育事務所 (田名部所長)</p>	<p>管理人に申し出てもらえれば、いつでも開放することになっておりますので、ご利用の際は遠慮なく申し込んでいただきたいと思います。</p>
<p>熊谷副会長</p>	<p>保育園の保育料が高く、子供を預けたくても預けられないという声を耳にするが、保育料を引き下げることができないものか？ それから、幼保一体化について、市ではどのくらい議論が進んでいるのか？</p>
<p>市民福祉課 (小枝課長)</p>	<p>当市の保育料は、国の基準に比べて低く設定していますし、合併前から見ても保育料は引き下げとなっております。</p> <p>本来、保育園は保護者が働くために、子供を預かるという考え方ではありますが、当地域におきましては、従来から幼稚園的な意味合いが強いため、幼稚園に比べると高すぎるという印象を受けるかと思います。</p> <p>この場で、保育料についてのお答えは出来ませんが、要望があったという事は本庁に伝えたいと思います。</p> <p>それから、幼保一体化についてですが、市立保育園では恵山地域のつつじ保育園が幼保一体化を導入して運営しています。</p> <p>端的に言えば、子供を預かる時間が短ければ幼稚園、長ければ保育園として利用してもらおうという事で、当地域につきましては、そのような運営が出来る施設形態ではありませんことから、現時点では導入が難しいですが、将来、施設の改修や建て替えといった時期がきましたら、幼保一体化の導入も検討されるものと考えております。</p>
<p>企画部 (渡辺部長)</p>	<p>幼保一体化については、民間資本の参入に伴う入園基準や保育士の待遇の問題など、国の制度自体が設計途上にありますことから、こうした動向を見極めながら、検討していくこととなっております。</p>
<p>秋本会長</p>	<p>他にありませんか？ (特になし)</p>
<p>秋本会長</p>	<p>無いようですので、質疑を終了します。</p>
<p>7 地域振興全般に関する意見交換</p>	
<p>(1) 函館国際水産・海洋都市構想の取り組み経過について</p>	
<p>秋本会長</p>	<p>日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。 まずは、前回の地域審議会においてテーマとして取り上げた「函館国際水産・海洋都市構想の取り組み経過について」の説明を受け、勉強したいと思います。</p>
<p>企画部 (藤田参事)</p>	<p>(配付資料のとおり説明)</p>

秋本会長	説明が終わりましたので、意見交換に入ります。 どなたかご意見ありませんか？
坂本委員	南茅部地域の振興を図るには、やはり水産業が重要であり、水揚げが向上して生活が豊かになることを望んでいる。 この構想が実現すれば、将来的には様々な波及効果も見込まれると思うが、景気が低迷している中、水産物の流通対策といった速効性のある事業を先にやるべきではないか？
企画部 (藤田参事)	確かにご指摘の部分もあるかと思いますが、将来に向けてまちをどうするのかといった事も考える必要があると思います。 今、市の人口が減少している要因として、次代を担う若い世代の働く場所が無いという事がひとつの要因であり、本構想を進めていけば、新しい会社が出来たり、起業したりすることによって雇用の場も生まれ、まちが活性化していくと考えております。 本構想も平成15年から取り組んでおり、徐々に成果も出てきております。 確かに喫緊の対策も重要ですが、将来を担う次世代のために、取り組んでいく事も大事だと考えております。
坂本委員	研究センターなども建設する計画だが、維持管理費はどのようになるのか？
企画部 (藤田参事)	貸し研究室ですから、一定の使用料はいただきますが、維持管理費を全て使用料で賄うという事ではなく、不足分は一般財源を充てるという事も考えております。 詳細については、これから検討していくこととなっております。
木原委員	先ほどの説明では、ガゴメ昆布や雑海藻などの有効活用に向けて研究を行っているとのことだったが、道南における水揚げの主力は促成真昆布であり、最近の需要の低迷などをみれば、促成真昆布の有効活用に力を入れて研究してほしい。
企画部 (渡辺部長)	さきに坂本委員が言われたとおり、今の漁業者、生産者の生活をどう支えるのか、水産物をどうやって販路拡大して水揚げを向上していくのかといった事は、まさに明日の生活に関わることであり、重要だと思っております。 一方で、本構想については、人口減少を止めるための方策として、地域経済にどう反映させるのかといった事が大きな目標で、そのためには、生産現場と学術研究機関がどういった接点をもって研究し、即効性のある成果を出していくかが非常に重要だと思っております。
坂本委員	全く構想を否定するという事ではなく、生産者にとって効果が分かり易い取り組みも検討してほしい。
秋本会長	他にありませんか？ (特になし)

秋本会長	<p>他に無いようですので、私からも意見を述べたい。</p> <p>国際水産・海洋都市構想，マリンサイエンスパーク，水産振興計画と色々な計画があるが，どのようにリンクしていくのか？</p> <p>それから地域への還元方法として，もっと積極的に情報を発信してほしい。</p> <p>また，南茅部定置漁業協会が，エコラベルの認定を受けるなど，水産関係団体において，流通加工の取り組みも行っている中で，そうした事もこの構想の中に取り込みながら，共に歩んでいくという考え方でなければいけないと思う。</p> <p>あと，水産試験場は研究センターに入る事が決まったのか？</p>
企画部 (渡辺部長)	<p>マリンサイエンスパークについては，ドック跡地に総合研究センターを核とした研究拠点施設を整備するというもので，全体の構想とは別にその一角の整備計画のことを指しています。</p> <p>それから各学術研究機関に対しましても，施設の利用について積極的にPRしております。</p>
企画部 (藤田参事)	<p>流通加工への取り組みとして，国から約13億円の補助をもらい，函館マリンバイオクラスターという事業を行っております。</p> <p>大きくは4つの研究をしており，1つは海洋情報に関する事，2つ目は海藻の育成に関する事，3つ目は海藻の有効活用に関する事，4つ目は国際的な流通を見据えた生産物の安全・安心に関する事など，幅広く研究を行っております。</p> <p>徐々に，その研究成果が出始めており，今後，産学官が一体となって取り組んでいくことで，より実用的な科学や技術を開発し，取り組みを発信すれば，たくさんの人や企業が集まり，まちが活性化されると考えております。</p>
企画部 (渡辺部長)	<p>道立水産試験場には新しい試験調査船もあり，本計画ではそうした調査船も係留可能な岸壁を整備することとなっており，こうした点も踏まえて，現在，前向きに検討されております。</p>
秋本会長	<p>独立行政法人化となったせいか，水産試験場の活動があまり見えてこない。</p> <p>やはり浜に密着していなければ，より良い研究は出来ないと思うので，産業に役立てる科学の展開を忘れずに，本構想に取り組んでもらいたい。</p> <p>最後に，頓挫した水族館の建設計画は中止となったのか？</p>
企画部 (渡辺部長)	<p>水族館については，アクアコミュニティ構想の中で，国有地である緑の島に建設するという計画でしたが，色々な経過から断念し，国にも構想を中止したと回答しております。</p>
秋本会長	<p>産学官が一体となって取り組んでいくという非常に素晴らしい構想であり，水産振興に寄与されることを期待しています。</p> <p>それでは，これをもちまして，函館国際水産・海洋都市構想の取り組み経過についての意見交換を終了します。</p>

(2) 次回の意見交換テーマについて

秋本会長 | 次回の意見交換テーマについてですが、どなたかご意見ございませんか？
(特になし)

秋本会長 | 無いようですので、今回はテーマを設けず、フリートーキングとします。

(3) その他

秋本会長 | 次にその他の地域振興全般に関する意見交換を行います。
どなたかご意見ありませんか？

坂本委員 | 河川公園とふるさと文化公園に時計が設置されているが、きちんと管理されていないように見受けられるので、よろしくお願ひしたい。

産業建設課
(河合課長) | 分かりました。

秋本会長 | 他にありませんか？
(特になし)

秋本会長 | 無いようですので、これで意見交換を終了します。
以上で、本日本予定の日程が全て終了しました。
次回の地域審議会は、3月を予定しております。
これをもちまして、閉会いたします。

(午後4時、閉会)